

学校便り

学校教育目標

「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、
行動できる児童・生徒の育成」

シカゴ日本人学校
11月号
平成29年11月22日発行
Tel : (847) 590-5700
Fax : (847) 590-9759
[http:// www.chicagojs.com](http://www.chicagojs.com)

ハタ（周囲）をラク（楽）にする「働く」

シカゴ日本人学校
校長 浅井 利真



日本では今月の23日は「勤労感謝の日」です。勤労感謝の日は、勤労を尊び、お米などの生産を祝い、国民が互いに感謝しあうという趣旨で昭和23年に制定されました。

以前は、「新嘗祭」（にいなめさい）といって、宮中や各地の神社で、その年に採れた新しい穀物を供え、生産の喜びを祝う祭日でした。

私は、平成21年から3年間日本最西端の与那国島で校長をしていました。（昔、フジテレビ系列で放映されたDr. コトー診療所のロケが行われた島です。）与那国島は旧暦にしたがって祭事をする風習が今でも根強く残っている島です。当然島の学校は祭事によって、毎年行事の日程が変わっていきます。季節の折目にはそれぞれの祭事があって、祭事の際にはさまざまな歌や踊りが行われます。学校長は有識者として祭事に招かれます。私はそこで演じられる歌や踊りの意味を島の長老から説明を受けながら、「収穫の喜びと同時に生産に携わった人々の苦労や努力こそが尊いものである。そして、働く人々と今こうして元気で働ける事への感謝と喜びとを併せて祝う日」であることを学びました。

私たちが安心して不自由なく生活できるのは、社会全体で多くの人が働いていて、生活に必要な物を生産しているからです。災害等があった時は、全国各地から様々な生活物資が運ばれてきます。その時に現地の人たちは、生産に携わった人々の努力の尊さ、供給してくれたことへの感謝の気持ちを持つと思います。しかし、このような経験がないと、労働の尊さ、感謝などを肌で感じることはできないのでしょうか。

家庭に目を移して考えてみます。家庭の中には「家事」という立派な仕事があります。買い物、お風呂の掃除、洗濯など数え切れない仕事があります。各ご家庭、様々な状況があると思いますが、家事の分担は、ある意味家族の一員としての義務といえます。そこに、お母さんの「ありがとう」お父さんの「お風呂気持ちよかったよ」子供たちの「夕飯おいしかったよ」の言葉で、自然とお互いに感謝の気持ちが湧いてくるのではないのでしょうか。

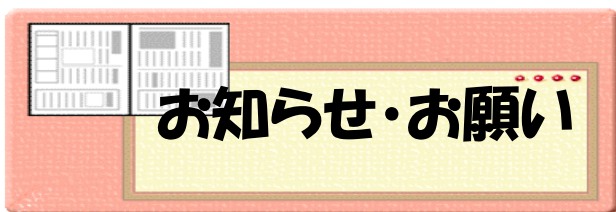
先月実施しました「我が家の家訓・一事徹底」では、13%のご家庭がお手伝いを取り上げていました。家事の分担や責任、働くことの意義についてご家庭で話しあっていただければと思います。

見だしにある「ハタ」を「ラク」にするは、語呂合わせの類です。しかし、家族や学校の仲間、周りの人の役に立つことを自分の喜びとする、そういう勤労観を持った方が愉しく生きられるし成長もできるものです。

ハタ（周囲）をラク（楽）にする「働く」という言葉をきっかけに、労働（働く）ということを手近なものとして捉え、まずは、家族、そして学校へと目を向け働くことに労を惜しまない子供たちになって欲しいと願います。当然、私たち大人は、「ハタ」を「ラク」にすることにやりがいを感じて、仕事をしていきたいものです。

12月の予定

月	火	水	木	金	土	日
27 (幼)個人懇談 ～12月15日	28 学校運営委員会 ④ 小5スケート①	29 全校朝会 PTA常任委員会 小5交流COME 小3交流GO	30	12/1 小6スケート① 小1交流COME 小3,4シカゴシンフ オニー鑑賞 ふたばタイム	2	3
4 校内人権週間 個人懇談～12/8	5 小5スケート②	6 (幼)12月誕生会 中3壮行会 (小)クリスマス集会	7 小4交流GO	8 小6スケート② クラブ⑧ 音楽集会 (中)生徒会選挙 ふたばタイム	9	10
11 クリスマスコンサートリハーサル 読み聞かせ③	12 クリスマスコンサート (セントエドナ教会)	13 (幼)クリスマスお楽しみ 会	14 小1交流GO	15 小2交流GO ふたばタイム	16	17
18	19 (年中)英語参観	20 (幼)2学期終業式	21 2学期終業式 (バス発車:15:50)	22 冬季休業開始	23	24 Chris tmas Eve
25 Christmas	26	27	28	29	30	31 New Year' s Eve



(1) オフィスより…授業料・変更届のお願い
今年度第3回目の授業料などの請求日は、**12月4日(月)**となります。この日までに請求書が届かない場合は、事務室へお問い合わせくださるようお願いいたします。《支払期日は**12月18日(月)**です。》

また、転居や携帯電話の変更などにより、住所や電話番号が変わられた場合には、必ず事務局へ**変更届**をご提出ください。

(2) インフルエンザの予防について

寒くなり、風邪やインフルエンザが流行しやすい季節を迎えました。予防には手洗いやうがいが最も効果的です。学校でも子供たちには、食事の前や外から帰った後などには手洗いをしっかりとるよう、各学級で指導致します。ご家庭でも**予防接種**や手洗い、うがいの励行をお願いするとともに、お子様の健康管理につきましてよろしくお願ひします。

(3) 感染症についてのお願い

次の感染症は、出席停止になります。感染症の診断がでた場合は、速やかに学校までご連絡下さい。

- 1、インフルエンザ
- 2、百日咳
- 3、麻しん(はしか)
- 4、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
- 5、風しん(三日はしか)
- 6、水痘(みずぼうそう)
- 7、咽頭結膜炎(プール熱)
- 8、結核
- 9、髄膜炎菌性髄膜炎
- 10、流行性角結膜炎(Pink Eye)
- 11、溶連菌感染症(Strep Throat)



11月17日(金)は、授業研究会のため1時間早く授業を切り上げました。保護者の皆様には職能向上のこうした取り組みにご理解ご協力をいただいておりますことに感謝いたします。日米算数授業研究会は東京学芸大学 藤井 斉亮 教授（日本数学教育学会会長）が中心に取り組まれているプロジェクトです。本校ではすべての教師(常勤)が年間1回の研究授業を行っています。小学部担任はこれに合わせて研究授業の教科を算数科に統一しています。

日米算数授業研究会は今年度、今回が2回目となります。前回は6年生で福島教諭（6月16日）が行いました。今回、3年生での前島教諭の授業では藤井教授も来校し、子どもたちの積極的で活発な意見発表に、日頃からの丁寧な授業展開の成果が出ているとお褒めの言葉をいただきました。授業後の授業研究会では現地アメリカの先生方からもいろいろな意見をいただき授業力向上につながる研究会となりました。算数科の授業を通して現地の先生との交流も深まりそうです。



また、教職員が協力して以下に示すような研究主題に向けて研鑽し、日々の授業を改善することで、子どもたちに確かな学力をつけていきたいと考えています。

本校の今年度の研究主題 『主体的に学ぶ児童・生徒を育てる学習指導の在り方』
～子供の思いや考えを活かす授業を通して～

主体的に学ぶ子どもの姿とは

- ・課題をつかみ、学習に見通しを持つことができる子供
- ・学び合いを通して自分の考えを付加・修正・強化できる子供
- ・自分の考えを表現し、まとめることができる子供

海外子女文芸作品コンクール

海外子女教育振興財団主催の第38回海外子女文芸作品コンクールの審査結果が発表されました。本校では、次の3名が入選しました。おめでとうございます。

部門	受賞種	学年	氏名と受賞作品	
俳句	佳作	小4	永竹 江麻 なつの空しずかに流れる白い雲	
俳句	佳作	中1	遊亀 陽 いちめんのシロツメクサの大海原	
詩	佳作	小2	山本 蓮 作品名 「ともだちとさようなら」	※詩部門については、 作品名のみを発表です。